

**TAIYO KOKI**

One machine, One answer

第**36**期

2020年1月1日 ▶ 2020年12月31日

# Business Report

株式会社太陽工機

証券コード：6164

## 企業理念

私たちは、  
先進的技術を駆使した  
製品を創造し、  
精密加工を通して  
世界の製造業の発展に  
貢献する

## 経営方針

- 1 内外の法令を遵守し、  
フェアな企業活動に徹する
- 2 イノベーションを追求し、  
最先端の技術力と提案力で  
社会に貢献する
- 3 企業価値を高め、  
顧客、従業員、株主、その他の  
ステークホルダーに報いる

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

新型コロナウイルスの感染拡大の厳しい環境の中、  
営業利益率7.3%を確保いたしました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年度の工作機械業界は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行にともなう経済環境の悪化を主因に、不透明な状態が継続いたしました。

当社もこうした環境の影響を受け、通期受注は前期比38.7%の減少となりました。しかしながら夏以降、受注状況は高い水準ではないものの緩やかな回復傾向にあり、特に経済活動を早期に再開した中国市場においては、前期比68.0%の著しい増加となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、当社のプライベートショーを含む展示会等が中止になったり、営業活動が制限された一方で、早期にオンラインによる商談や立会いの体制を整えたほか、ウイズコロナの時代を見据え、ウェブを活用した販売促進の基盤の整備に努めてまいりました。また、前期に引き続き経費や作業工数の削減、業務の合理化等の徹底により、コスト低減と生産性の向上を図ってまいりました。

当期の業績につきましては、受注高は4,269百万円(前期比38.7%減)となりました。売上高は、7,082百万円(前期比35.0%減)となりました。利益面では、営業利益515百万円(前期比71.1%減)、経常利益516百万円(前期比71.1%減)、当期純利益345百万円(前期比71.8%減)となりました。

当期の配当につきましては、中間配当15円、期末配当15円の年間配当30円を実施することとなりました。

2021年度につきましては、海外を中心として、中国での更なる受注の増加を見込んでおり、米州・欧州での回復を期待しております。コロナ禍は依然懸念材料ですが、市場ニーズを捉えた製品の投入を軸に提案型営業を展開し、需要の発掘及び当社製品の普及拡大に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2021年3月

代表取締役社長 **渡辺 剛**

コロナ禍による各社の設備投資の抑制に大きく影響を受けた2020年度の工作機械業界。年度終盤からは投資意欲に回復の兆しが見える中、ここでは渡辺社長への取材を通じ、ウィズコロナ時代を見据えた新たな事業展開等についてご説明します。



ウィズコロナ時代に  
即した経営戦略への  
シフトを推し進めて  
まいります。

Q1

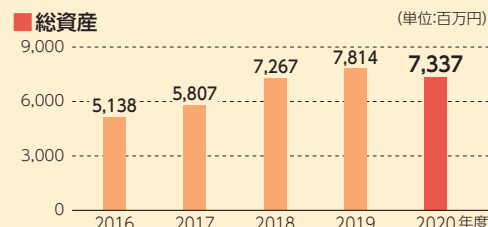
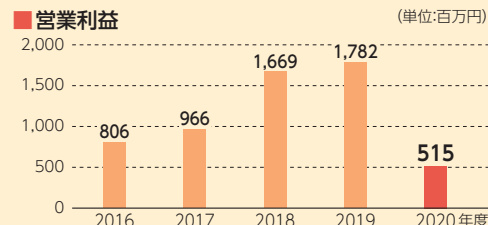
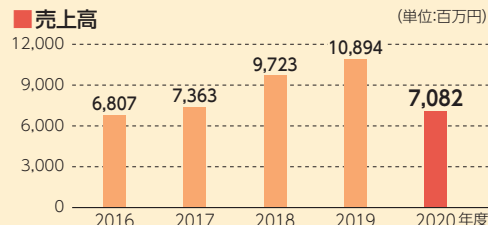
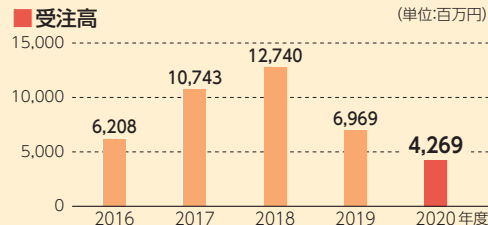
市場環境や決算など2020年度の総括をお願いいたします。

A

業績面では、国内売上の落ち込みが大きく響いたものの、2019年度末で約50億円の受注残高を持っていたことや、2020年度下期以降の中国経済の急速な回復、加えて各種コスト削減策の奏功等により、一定レベルの売上・利益を確保しながら営業利益率7.3%を確保することができました。

受注面については、工作機械業界全体の受注総額が2019年度比26.7%減であったのに対し、当社は38.7%減とそれ以上の落ち

## 財務ハイライト



(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## トップインタビュー

込みとなりました。しかし引き合い状況は2020年度の終盤辺りから確実に回復傾向に入ってきたと考えています。その傾向は、当社の2020年度の受注には結びついていませんが、2021年度に入ってから当社の受注額は上向いて推移しており、今後の受注環境の回復へ向けて期待感を持っているところであります。

Q2

**2020年度は社長就任後に迎える最初の通期事業年度となりましたが、振り返ってみていかがでしたでしょうか？**

A

2019年7月に社長就任後、一年も経たぬうちにコロナ禍が世界に蔓延し、多くの企業・産業界で設備投資の様子見する動きが顕著になりました。それと並行して、経済活動全体で新しい価値やNew Normalが求められるなど、経営の舵取りとしては厳しい船出であったと言えるかもしれません。

しかしながら、このような状況の下で試行錯誤を繰り返し、オンラインでの会社情報発信力の強化、リモートによる商談推進、更にはお客様の工場の機械の状況を当社で診るリモート診断システムの開発など、事業成長のための新たな取り組みに着手することもできました。また、多くのお客様及び株主に支えられながら、コロナショックが全世界を覆う中ではありましたが、黒字継続と営業利益率7%台を確保することができました。あらためましてすべてのステークホルダーの皆様に対し、感謝申し上げたいと思います。

Q3

**2020年度を境にして事業環境が激変しましたが、今後のウィズコロナ時代を見据えた経営戦略についてお聞かせください。**

A

ウィズコロナ時代に即した経営戦略へのシフトとして最も重視しているのが、「海外展開の強化」です。

当社では2030年度に海外受注比率50%を目指しており、2020年度の海外受注比率は43.1%となりました。国内景気の回復は未だ鈍い状況である中、中国市場はエネルギー・建設機械を中心に受注が増加、また欧州・米州市場は引き合いの回復傾向が進んでおり、今後は更に海外市場の開拓と深耕に努めていく方針です。

その一環として当社では、ドイツ／中国／アメリカの各拠点に展示機を設置しました。これは、単に海外営業力の強化という側面だけではなく、親会社であるDMG森精機グループとのシナジー追求という効果も狙っています。

日本から技術スタッフを海外に派遣することが困難であったこの一年を通して、当社では、DMG森精機グループの海外現地エンジニアが動けるような体制づくりを進めてきました。現在では、据え付け／アフターサービス／メンテナンスまでを、海外現地で完結するための基本的スキームを確立することができています。今後へ向けては、各地の展示機を使ってDMG森精機グループの海外現地エンジニアの加工トレーニングを図り、同スキームをより確固たるものとしていきます。またこれは海外事業展開のスムーズ化のみならず、海外事業展開のスピード化による遅滞なき資金回収にも繋がってくるものと考えています。

## Q4 2020年7月に開設した「研削技術研究所」についてご紹介ください。

**A** 本社の一角に新たに開設した研削技術研究所では、主力機種である立形研削盤を小型機から大型機まで4機種を揃えるほか、円筒研削盤、内面研削盤など合計6台の研削盤を常設しています。

同研究所開設の最大の目的は、常設機械を使ったテスト加工の実施です。コロナ禍で景気動向が不透明となり設備投資を控えるお客様が多い中、この期間・状況下を利用してお客様のテスト加工を積極的にお受けし、設備投資を決める最大の判断基準である“機械の精度”をお示ししようとするものです。不遜ですが、まさに“機械の精度”に絶対的自信を持つ当社だからこそそのサービスとも言えます。またテスト加工の結果報告に際しては、どのような砥石、研削液、加工手順で削ったら効率的かつ高精度であるかなど、プロフェッショナルな総合的提案を実機によるリアルな結果を踏まえた上で行い、新たな受注機会を創出することができていると捉えています。

## Q5 2021年度の見通しなど、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 昨年のビジネスレポートで「2020年度は辛抱の一年」と表しましたが、この2021年度を私なりの表現で申しますと「スピード勝負の一年」となると考えてい

ます。先にご説明したような、人流を制限される中でのデジタル変革推進や海外現地ですべてを完結するスキーム確立も、また然りです。受注環境が回復基調にある中、市場ニーズを機敏に捉えながら期中受注・期中売上を積み上げるとともに、しっかりとした営業利益を出せる体制づくりに引き続き取り組んでまいりたいと考えています。

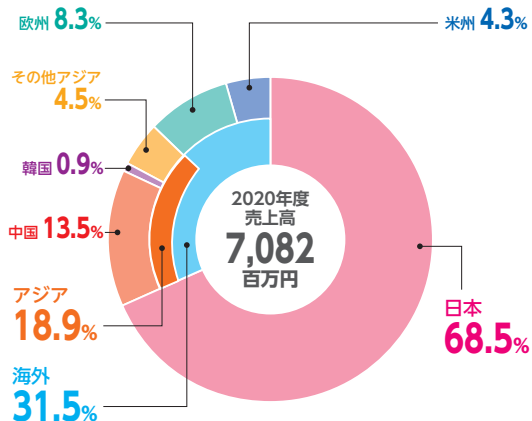
なお最後になりましたが、株主還元の一環として当社ではこの度、取得株式総数20万株・取得価額総額240百万円を各々上限とする自己株式の取得を行うことにしました(取得期間は2021/2/15から同年8/10まで)。これからも株式価値の向上へ向けて、経営環境の変化に応じた資本政策を遂行していく所存です。

株主の皆様におかれましては、当社の更なる成長にご期待いただき、今後とも末長くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

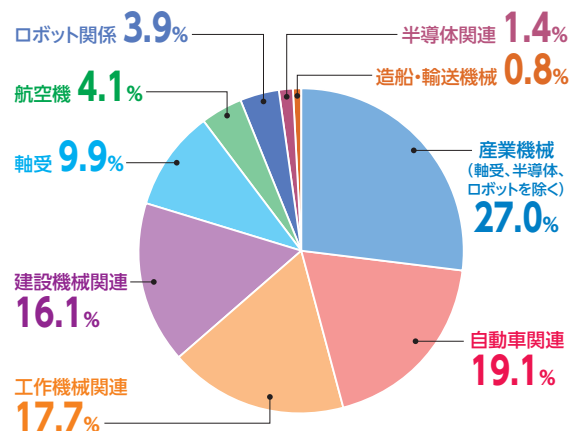


# 事業概況

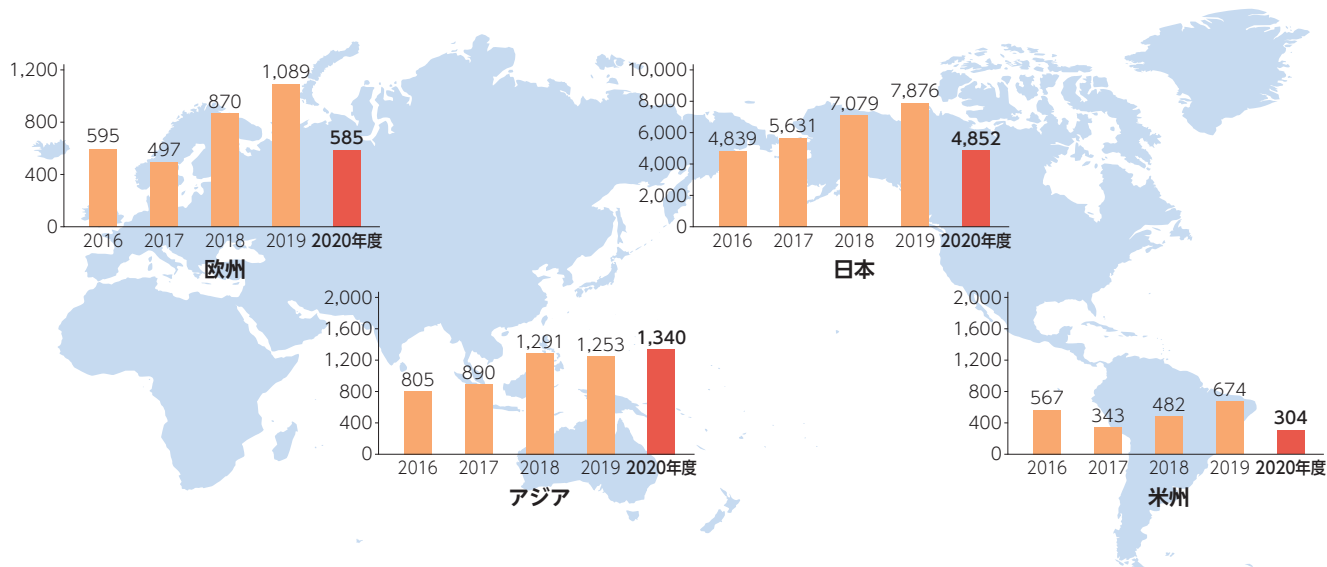
## ● 地域別売上構成比



## ● 業種別売上構成比



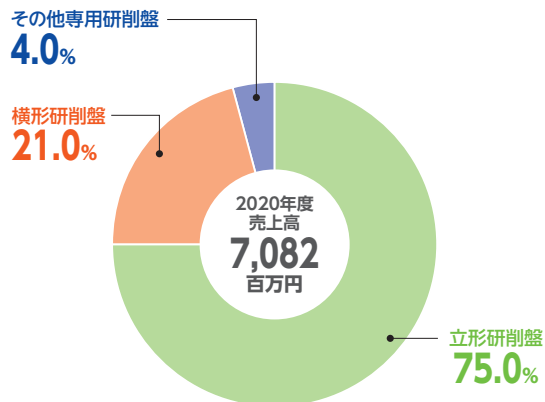
## ● 地域別売上高の推移 (単位:百万円)



(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。



## ● 品目別売上構成比



**産業機械関連企業や自動車関連企業を中心に、幅広い業種からの受注が売上に貢献いたしました。**

地域別売上高では、日本向けが68.5%、海外向けが31.5%となりました。新型コロナウイルスの影響を受け、売上は日本をはじめ各地域で減少したものの、アジア地域では、中国の建設機械関連企業からの複数台受注を多数獲得したことにより、前期に比べ売上が増加いたしました。

業種別、品目別につきましては、産業機械関連企業からは汎用機の立形複合研削盤Vertical Mateシリーズや小型の立形複合研削盤IGVシリーズ、自動車関連企業からは小型の立形複合研削盤IGVシリーズや横形の円筒研削盤CGNシリーズの受注を多数獲得いたしました。

### 立形研削盤とは

立形研削盤は、部品を重力に対して垂直方向に回転させて加工する方式の工作機械です。当社がもつ独自技術により1989年に業界で初めて開発・製品化し、現在は主力製品として国内でトップシェアを占めています。加工する部品を垂直に設置するため、段取りが容易であるばかりか重力の影響を受けず加工精度に優れた特性をもち、工場内の省スペース化にも貢献します。



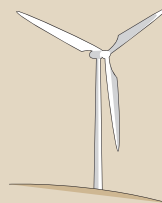
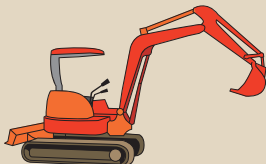
立形複合研削盤(小型)  
[IGV-3NT]



立形複合研削盤  
[Vertical Mate85]

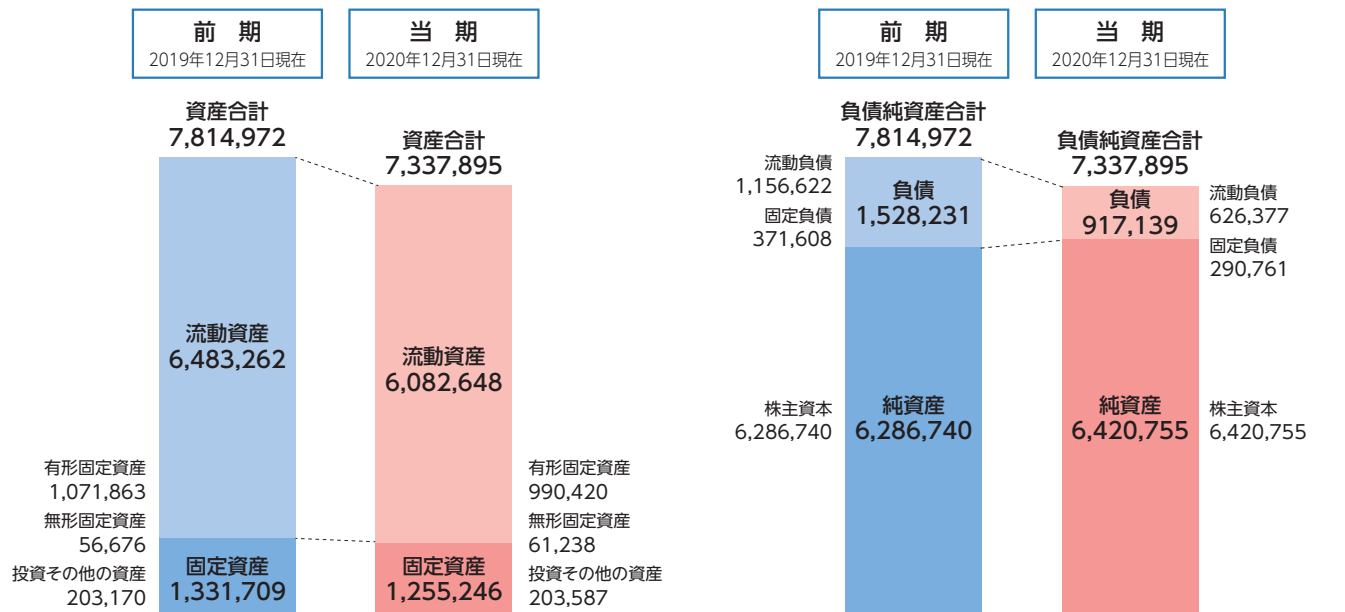
**当社の研削盤が加工した製品は、こんなところで使われています。**

当社の研削盤は、自動車や航空機、建設機械におけるエンジン部品やシャフト、ベアリング、風力発電設備の変速機といった重要部品の加工に利用されています。0.001mm単位で要求される精度に応じて、低燃費の実現や振動の抑制などによる乗り心地、安全性、長寿命等品質の向上に重要な役割を果たしています。

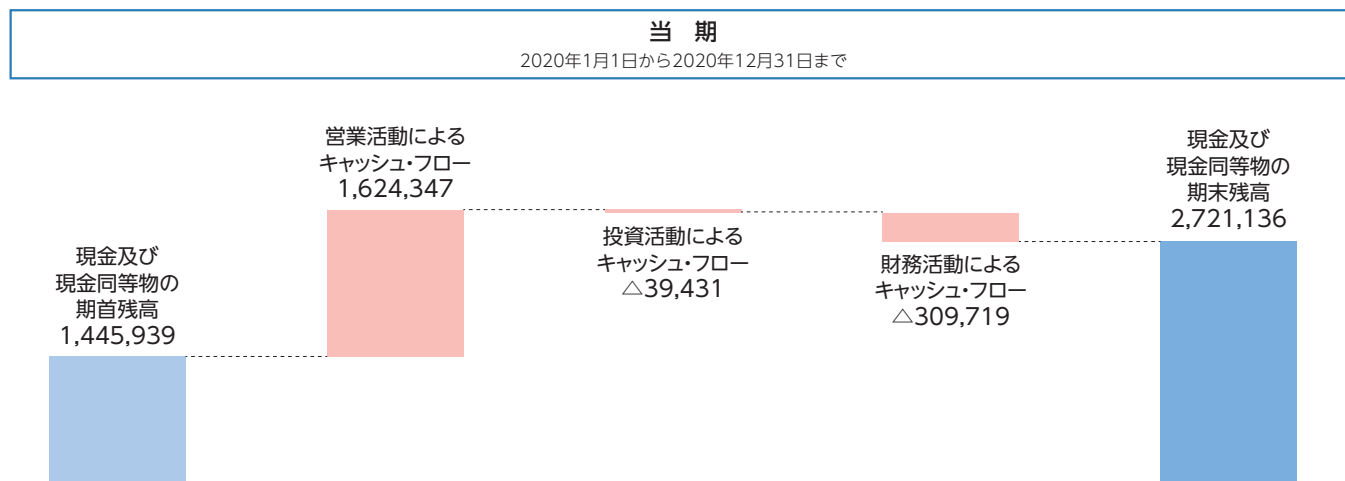


# 財務諸表

## ■ 貸借対照表の概要 (単位:千円)



## ■ キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:千円)

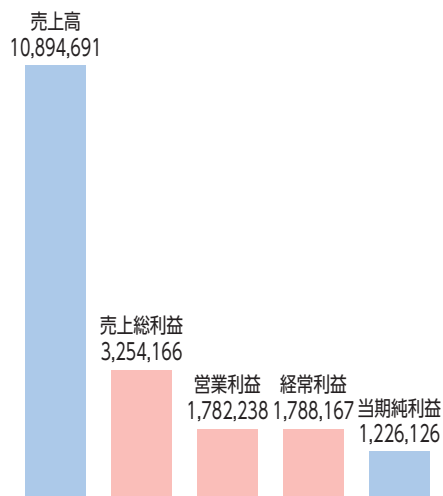




## ■ 損益計算書の概要 (単位:千円)

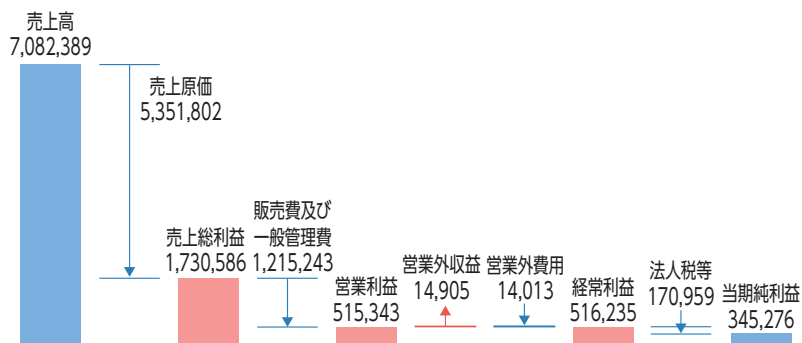
### 前期

2019年1月1日から2019年12月31日まで



### 当期

2020年1月1日から2020年12月31日まで



## ■ 株主資本等変動計算書 (単位:千円)

当期 2020年1月1日から 2020年12月31日まで	株 主 資 本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当 期 首 残 高	700,328	387,828	129,601	517,429	5,081,190	5,081,190	△12,207	6,286,740	6,286,740
当 期 変 動 額									
剰 余 金 の 配 当					△237,498	△237,498		△237,498	△237,498
自 己 株 式 の 処 分			14,951	14,951			11,285	26,236	26,236
当 期 純 利 益					345,276	345,276		345,276	345,276
当 期 変 動 額 合 計	—	—	14,951	14,951	107,778	107,778	11,285	134,015	134,015
当 期 末 残 高	700,328	387,828	144,552	532,380	5,188,968	5,188,968	△921	6,420,755	6,420,755

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 研削技術研究所 (Grinding Technology Laboratory) 開設

2020年7月6日に当社本社工場内に研削技術研究所 (Grinding Technology Laboratory) を開設いたしました。社内のおさまざまな部署からスペシャリストを集め、これまで当社が蓄積した加工ノウハウを集約することで、効率的かつ革新的な研削技術の追求を加速いたします。

研削技術研究所には、当社の主力機種である立形研削盤を小型機から大型機まで4機種を揃えるほか、円筒研削盤、内面研削盤等を常設しております。いわばショールームとして、当社が誇る最新の研削盤を実際に見学いただけるほか、設備購入を検討されているお客様からのテスト加工も専属スタッフが対応いたします。

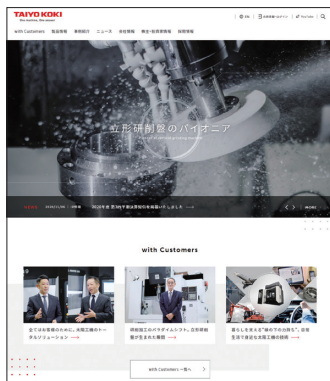
また社内人材の能力向上のための教育機関として各種トレーニングを実施するとともに、将来的にはお客様向けのスクール・各種トレーニングの実施も検討してまいります。



## Webサイトをリニューアル

2020年11月に当社Webサイトを全面リニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、皆様により見やすく、使いやすく、また情報を分かりやすくお伝えできるようデザインや構成を見直し、より製品の詳細をご案内しているほか、加工事例の紹介や特集コンテンツ「with Customers」等の新コンテンツも追加いたしました。またスマートフォンやタブレットからのアクセスにも対応しており、幅広いデバイスで使いやすいサイトとなるよう改善いたしました。

今後も多くの皆様にご利用いただけるホームページを目指し、内容の充実を図り、より活用しやすい情報提供を行ってまいります。



トップページ

### 製品情報

当社主力製品である立形研削盤を始め、横形研削盤や円筒研削盤等のさまざまな製品を紹介しております。このページには会員限定のコンテンツをご用意しているほか、加工動画もご覧いただけます。



### 事例紹介

工作機械や一般機械、自動車等の業種別に部品の加工事例を紹介しております。



### with Customers

お客様と共に成長する太陽工機の活動を紹介しております。

## 会社の概要 [2020年12月31日現在]

Corporate Data

会社名	株式会社太陽工機 (TAIYO KOKI CO., LTD.)
資本金	700,328,200円
設立	1986年3月14日
主な事業内容	工作機械(各種研削盤)の開発・製造及び販売
従業員	238名
ホームページ	<a href="https://www.taiyokoki.com">https://www.taiyokoki.com</a>
本社所在地	新潟県長岡市西陵町221番35
関連会社	DMG森精機株式会社

役員	代表取締役社長	渡辺 剛
(2021年3月24日現在)	取締役副社長	棚橋 基裕
	専務取締役	小林 秋男
	取締役	森 雅彦
	取締役	柿沼 康弘
	取締役	多賀谷 実
	常勤監査役	大野 和彦
	監査役	間瀬 宏
	監査役	大野 義彰
	監査役	佐藤 壽雄

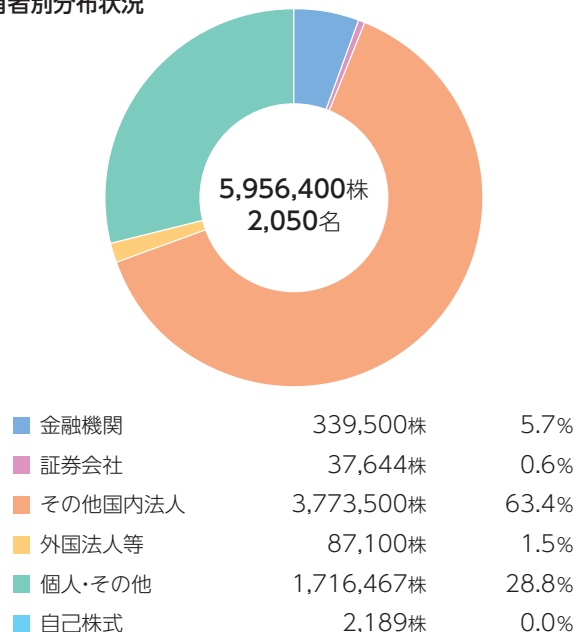
## 株式の状況 [2020年12月31日現在]

Stock Data

発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式の総数	5,956,400株
株主数	2,050名
大株主	

大株主(自己株式は除く)	持株数(株)	持株比率(%)
DMG森精機株式会社	2,988,000	50.18
株式会社渡辺	508,000	8.53
株式会社井高	216,000	3.62
太陽工機従業員持株会	179,100	3.00
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	144,600	2.42
渡辺 登	100,000	1.67
株式会社第四銀行	80,000	1.34
株式会社三井住友銀行	80,000	1.34
神林忠弘	69,200	1.16
MSIP CLIENT SECURITIES	42,300	0.71

### 所有者別分布状況



(注)1 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(2,189株)を除いて計算しております。  
 (注)2 株式会社第四銀行は2021年1月1日付けで株式会社北越銀行と合併し、株式会社第四北越銀行と社名変更をしております。

## 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金 受領株主確定日	12月31日
中間配当金 受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード) 電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.taiyokoki.com">https://www.taiyokoki.com</a>
公告の方法	(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

## ネットワーク

### <国内拠点>

#### 本社・工場

〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221-35  
TEL. 0258-42-8808 (代) FAX. 0258-42-8810

#### 東部営業所

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-340 ウノビル7階  
TEL. 048-658-8701 FAX. 048-658-8702

#### 中部営業所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-35-16  
(DMG森精機株式会社内)  
TEL. 052-563-1270 FAX. 052-563-1310

#### 西部営業所

〒564-0052 大阪府吹田市広芝町4-1 江坂・美貴ビル8階  
TEL. 06-6378-7166 FAX. 06-6378-7167

### <海外拠点>

#### 中国 (上海)

No.178 West Yindu Road, Songjiang District, Shanghai  
201612, China  
TEL. +86-21-6764-8876

#### アメリカ (シカゴ)

2400 Huntington Boulevard Hoffman Estates, Illinois 60192  
TEL. +1-847-593-5400

#### ヨーロッパ

Gildemeisterstrasse 60, 33689 Bielefeld, Germany  
TEL. +49-5205-74-2233

#### タイ (アマタナコン)

700/146 Moo 1, Tambol Bankao, Amphur Panthong,  
Chonburi 20160, Thailand  
TEL. +66-38-468720-1

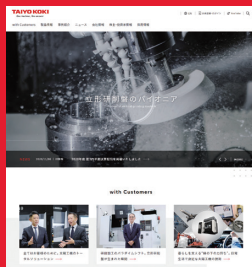


見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



## Webサイトのご紹介

<https://www.taiyokoki.com>

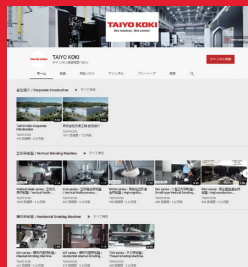


当社ではWebサイトにて社の企業情報を随時開示しています。製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。



## 関連サイト

## YouTubeチャンネルのご紹介



関連サイトとして、当社のYouTubeチャンネルを開設しております。当社の会社紹介、立形研削盤を始めとした各種研削盤の加工動画等がご覧いただけます。

